#### 京大URA報告 「京大の10年後の姿をイメージして」

## 03. 学問領域を越える「学際」

May 29, 2017 京都大学 学術研究支援室

白井 哲哉



## 京都大学「基本理念」(研究)

京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

## 学際研究を取り巻く環境の変化

学術研究の進展 → 分野の細分化・深化 研究者に求められる役割の多様化 → 機会の減少 社会課題の解決 → 学際研究のニーズの高まり

今、「学際研究を進める」環境・施策が必要



### 学際研究推進に向けた戦略的サポート

エーズ

タイプ

施策

U Α 活 アイデア 創出

分野横断

交流会

京大

100人

論文

アイデア 醸成

プロジェクト 検討



プロジェクト



ボトムアップ型(異分野融合)

研究者「創発」

学際研究

着想コン

テスト

京都大学

アカデミ

ックデイ

トップダウン型(異分野連携) 政策「課題解決」

分野横断 プラットフォーム 構築事業

融合チーム研究 プログラム [SPIRITS |

外部資金獲得支援

成果発信 支援

産官学 連携支援

🔭 URA:学内関連組織連携

学際研究のアイデアが芽 吹くための機会・場を 学際融合教育研究推進セ ンターが中心となり創出

プロジェクトへの発展を URAと連携しサポート



■ URA:企画・運営

学際研究のアイデアがある 研究者を対象に、その実現 に向けての第一歩を支援

資金提供の他、チーミング や広報、研究会やWSの開 催について各種アドバイス

企画・運営 ¶ URA: 件走支援 (PM)

学際研究を進めるための学 内ファンドをURAが企画・ 運営

個々の採択プロジェクトの プロジェクトマネジメント (PM) も伴走支援する



学際的なファンドの獲 得支援

研究を発展させるため の、協力者とのマッチ ングや、広報などもサ ポート

#### 学際研究推進に向けた戦略的サポート

フェーズ

施策

U A 活 アイデア 創出

アイデア 醸成

プロジェクト 検討



プロジェクト



ボトムアップ型(異分野融合)



トップダウン型(異分野連携) 政策「課題解決」

分野横断 交流会

京大

100人

論文

学際研究 着想コン テスト

京都大学

アカデミ

ックデイ

研究者「創発」

分野横断 プラットフォーム 構築事業

融合チーム研究 プログラム [SPIRITS |

外部資金獲得支援

成果発信 支援

連携支援

産官学

学際研究のアイデアが芽 吹くための機会・場を 学際融合教育研究推進セ ンターが中心となり創出

プロジェクトへの発展を URAと連携しサポート



URA:企画・運営

H25-28年度実績 新規の学際研究の WS/研究会の創出

企画・運営 ▼ URA: 件走支援 (PM)

H25-28年度実績 新規の学際研究 プロジェクト推進



学際的なファンドの獲 得支援

研究を発展させるため の、協力者とのマッチ ングや、広報などもサ ポート

#### 学際研究推進に向けた戦略的サポート(成果)

#### 【研究成果】

研究プロジェクトの継続・創発(外部資金の獲得) 研究成果の公開(論文、書籍、メディア) 研究会の継続、コミュニティの拡大





新たなネットワークが作れた

研究に広がりができた (異なる研究者との) 共通の分析枠組みができた

(研究会等の) 企画をつくる勉強ができた

科学を俯瞰する視点が育成された 新たな分野へのチャレンジ精神が得られた

### 学際研究推進に向けた戦略的サポート(成果)

#### サポートの結果として研究者に備わる「力」

# 学際力

- ・多様な視点/広い視野
- ・チャレンジ精神/積極性
- ・広い人脈/人脈作り
- ・異分野の知見や情報
- ・異分野の人との議論
- ・研究協力者の獲得
- ・軽いフットワーク



# PM力

- ・企画立案力
- ・運営ノウハウ
- ・明確なコンセプト
- ・事務能力
- ・コミュニケーション力
- ・可能性/有効性の把握
- ・アンテナを張る力

# 発信力

- ・学術雑誌/論文
- ・非専門家への発信
- ・書籍/出版
- ・マスメディア利用方法

## 学際研究推進の観点から見た10年後

# 新規の学際研究プロジェクトが 生まれ続ける「場」

#### 【今後の取組】

- ◎学際研究の土壌を作る事業を継続・拡充・最適化
- ◎学内の組織間連携(学際融合教育研究推進センター etc.)
- ◎学内の環境作り(京都大学高等研究院)

さらに多くの、他に類を見ない、斬新な学際研究プロジェクトを生みだす (学際力・PM力・発信力を醸成する)